

枚方市議会議員

かじや

知宏
ともひろ

まっすぐ
市政改革



- 昭和43年9月12日、枚方市生まれ。阪保育所、殿山第二小学校、第三中学校、牧野高校、龍谷大学文学部社会福祉学専攻を卒業。
- (株)報知新聞社での11年間の勤務を経て行政書士に。大阪府行政書士会綱紀委員、同企画広報部副部長、同枚方支部副支部長、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議理事、中司宏事務所政策スタッフ等を歴任。
- 平成23年に枚方市議会議員に初当選。予算、総務、教育子育て、市民福祉各委員会の委員長、監査委員、大阪維新の会枚方市議会議員団代表、

- 日本維新の会枚方市支部政調会長等を歴任。
- かじや行政書士事務所代表として行政手続きの申請代行や遺言、契約書などの作成支援を行うほか、大阪府行政書士会枚方支部顧問や牧野高校同窓会牧友会副会長、東日本復興支援チャリティコンサート実行委員会事務局、自衛官募集相談員等として地域でも活動。
- 趣味は、読書、スポーツ観戦(プロ野球、格闘技等)、神社仏閣巡り、観劇(宝塚歌劇団、ミュージカル等)等。

かじや知宏さんのこの4年間の 主な取り組み

- 物価高騰に対する支援策の実施**
水道基本料金の減免、子どもへの1万円のギフトカード配布などを実施
- 第2子以降の保育料の無償化**
令和2年4月から保育料と副食費の無償化を実施
- 子ども医療費助成の拡大**
令和5年8月より15歳から18歳まで拡大し、入院費助成は19歳から22歳まで拡充
- 全小中学校に1人1台のタブレット端末を導入**
LTEモデルのタブレット端末を導入し、全国トップクラスの環境を整備
- 高齢者・障がい者の支援策の拡充**
成年後見制度利用支援事業の対象者拡大、福祉サービス利用援助事業の拡充など
- 総合文化芸術センターの整備**
文化・芸術活動の拠点となる総合文化芸術センターが令和3年9月にオープン
- 公民連携の推進**
市の課題解決に民間事業者のアイデアや技術を活用する仕組みを導入
- 新型コロナウイルス対策**
医療提供体制の拡充をはじめ、市民・事業者への市の独自支援策の実施



政治家自ら「身を切る改革」を実行中。

かじや知宏さんとともに
維新の改革を進めます

発行元 **大阪維新の会**

連絡先
かじや知宏後援会
〒573-0171 枚方市北山1-23-57
☎072-809-0733 ♡072-851-5651

大阪維新の会 代表 **吉村 洋文**

これが維新の実行力!

枚方の重点政策

枚方の未来をつくる

- 1 身を切る改革！ 議員報酬・定数の削減
- 2 出産費用の実質無償化、育児費用の負担軽減
- 3 通年の待機児童ゼロの実現と認定こども園の設置
- 4 児童相談所の設置と児童養護施設の誘致
- 5 支援教育の人材確保と通級指導教室の全校設置
- 6 デジタル人材の確保・育成と、オンライン申請などDXの推進
- 7 中学校全員給食の実現と無償化に向けた取り組み推進
- 8 塾や習い事に活用できる「教育バウチャー券」の配布
- 9 周辺自治体との連携による大阪・関西万博の波及効果拡大
- 10 枚方市駅周辺再整備の推進及び市民理解の促進

改革と成長で財源を生み出し
住民サービスを向上させます

物価高騰に対する支援

物価高で厳しい状況にある家庭や事業者に対して、継続した支援に取り組みます。

徹底した行財政改革

公民連携やDXの推進による効果的・効率的な市役所業務への転換など、改革によって財源を生み出し住民サービスの向上を図ります。

教育・子育て支援の充実

学力・体力向上の取り組みや、不登校支援、中学校全員給食の実現、出産・育児費用への支援など、教育環境や子育て支援の充実と、保護者の負担軽減を実現します。

福祉・介護・医療体制の強化

感染症対策をはじめ、生活習慣病や認知症等の予防、高齢者・障がい者の権利擁護の推進など、誰もがいつまでも地域で安心して暮らせる社会をめざします。

枚方の「成長」を推進

市駅周辺再整備をはじめとするまちの魅力を高めるコンテンツの整備や、地域資源の活用、自治体間の連携等により、賑わい創出や交流人口の拡大につなげます。

安心・安全・快適なまちづくり

避難所の機能強化をはじめ雨水貯留管整備などの浸水対策や、着実な道路整備による渋滞解消、通学路の安全対策などに取り組みます。

「未来に希望の持てる枚方」を

かじや知宏さんからのメッセージ

「社会構造」の変化にあわせた抜本的な改革が必要

人口減少・少子高齢化に伴う税収の減少や社会保障費の増大など、国と地方自治体を取り巻く状況は今後一層厳しくなっていくことが予想されます。

昭和の高度経済成長時代に構築された古い政治・行政の仕組みが時代に合わなくなり限界にきている中、持続的発展が可能なまちをつかっていくためには、「社会構造」の大きな変化と、それに伴う住民ニーズの複雑化・多様化に対応する新たな仕組みへと抜本的に改革していく必要があります。

政治が問題を先送りしてきた結果、将来世代への負担が増大

しかし、バブル崩壊以降、失われた30年と言われるように、このような危機的な状況になることがわかっていながら、これまでの政治は場当たり的で小手先だけの改革に終始し、現状維持の政治を続けてきました。その結果、将来世代の負担が大きく膨らんでいる状況です。

既存政治への不信感や将来世代に対する責任感から政治の世界へ

市民の利益ではなく、既存の仕組みの中で恩恵を受けている企業や団体の利益を優先し、不都合な真実に目をつむり、問題を先送りしてきた「既存の政治」への怒りや不信感、そして将来世代に対する責任感が、私が政治の世界を志した原点です。

困難な課題にも正面からまっすぐ向き合い改革を進める

私のキャッチフレーズ「まっすぐ市政改革」は、困難な課題でも逃げることなく正面からまっすぐ向き合い、課題解決に向けて粘り強く取り組んでいく決意を込めたものです。

私は、これまで市議会議員として2期8年、しがらみにとらわれず、既得権にも真っ向から切り込むことで、市役所の改革を進め、教育や福祉などの住民サービスの向上につなげてきました。

厳しい時代を乗り越え「未来に希望の持てる枚方」をつかっていくため、これからも挑戦をやめることなく、枚方の改革をさらに前へと進めていきます。

